

# 地域が輝く「美しい国、日本」の観光立国戦略〈概要〉

## 戦略会議報告書(平成16年11月)の実施状況

### 4つの課題と55の提言

- ・国際競争力のある面的観光地づくり
- ・国際競争力強化のためのソフトインフラ
- ・外国人旅行者の訪日促進
- ・国民観光の促進



### 実施状況

- ・外国人への戦略的情報発信や出入国手続きの簡素化・円滑化等の取組みにより、平成18年の訪日外国人旅行者数は733万人に増加(前年比9%増)
- ・国内では、意欲ある地域への支援、人材育成の強化等の取組みにより、国際競争力のある面的観光地づくりが進展

今後とも55の提言を着実に実施するとともに、次の視点で①～③に取り組む

観光による地域活性化等の効果を更に高めることが必要

多様な地域、人々の創意工夫を更に引き出すことが必要

多彩なものが共存・融合し、多様な側面を持つ日本の観光魅力を更に発掘し、磨きをかけ、発信することが必要

- ① 地域固有の宝を生かした、個性豊かな地域づくり
- ② システム改革による観光消費の拡大
- ③ 「美しい国、日本」の実現とその戦略的情報発信

# 1

## 地域固有の宝を生かした、個性豊かな地域づくり

地域が育んできた固有の伝統・文化・歴史・産業・自然等の観光資源を、地域に住む人々が誇りに思い、その魅力を最大限発揮できるようにすることが地域を輝かせる。このような地域は多くの人々を惹きつけ、それによる人の交流の拡大とその取組みは、人口減少時代の地域活性化策の要となる。

### (1) 地域固有の伝統・文化・歴史・産業・自然等の観光資源を保全、活用するための地域、企業、個人等の取組みの奨励

- ・旅館、町家、産業遺産・施設等を観光資源として保全、活用するための、資金協力も含めた企業や市民の参加奨励
- ・古民家、町家等を宿泊施設として活用するための宿泊者の安全に配慮した規制の運用改善
- ・景観法や文化財保護法の枠組みを活用した地域の個性を生かした景観形成の推進 等



京町家



木造旅館：長野・渋温泉 金具屋

### (2) 観光まちづくりを地域全体で支える持続的地域経営モデルの創出

- ・「観光まちづくり事業体」の形成の支援
- ・「観光まちづくりファンド」組成のための、資金協力も含めた企業や市民、行政の参加奨励 等

### (3) 都市と地域、地域と地域の魅力が相乗効果を生むネットワーク型観光の推進

- ・「テーマ型広域観光モデルルート」の開発・普及の促進
- ・広域交流を推進するための交通ネットワークの整備、「日本風景街道」等による広域観光ルート上の景観の向上
- ・広域旅行の利便性の向上・コストの低減 等



重要文化的景観  
「近江八幡の水郷」

## 2

# システム改革による観光消費の拡大

観光消費の拡大を実現するためには、観光産業がその生産性を向上し、透明で公正な市場において、多様なサービスの提供を通じた新たな需要の創出や旅行を促す環境整備を図ることが必要である。このような観光産業の取組みと観光消費の拡大は、地域経済の活性化、活力に満ちた地域の実現の要となる。

### (1) 観光産業の生産性向上のため、事業運営の効率化とともに、多様なニーズに応えたサービスの提供・顧客満足度の向上の取組みの推進

- ・「宿泊産業生産性改革運動」の推進（経営マネジメントの浸透、きめ細かなマーケティング、バックヤード業務の労働生産性の向上等）
- ・タイムシェアリング商品の開発等宿泊業の新たなビジネスモデルの構築
- ・地域密着型「ニューツーリズム」旅行商品の開発促進のための異業種連携や産学官連携等の促進
- ・二地域居住やロングステイ旅行商品の開発促進
- ・誰もが憧れる旅を実践する「旅の達人」の選定
- ・顧客満足度(CS)とともに従業員満足度(ES)の向上 等



長期滞在型旅行のモニターツアー

### (2) 消費者の多様な選択を支援する旅行商品情報提供システムやIT等を利用した流通システムの高度化

- ・旅行者の的確な選択のための必要な情報の内容と提供のあり方の検討及び適切な情報提供の推進
- ・地域密着型「ニューツーリズム」旅行商品データベースの構築・活用 等

### (3) 多様な観光魅力が集積した集客力の高い観光コンプレックスの形成

- ・「核」となる宿泊施設、魅力ある集客・観光施設、イベント等のコンテンツが集積した観光コンプレックスの形成

### (4) 休暇・働き方の多様化の促進を通じた観光需要・消費の拡大

- ・計画的な休暇取得の促進、社会貢献活動支援のための休暇取得促進の優れた取組みの紹介
- ・学校の秋休みや二学期制など学校休業の多様化、柔軟化
- ・旅育（たびいく観光の意義等についての教育、旅行を通じた文化・教養力の向上）の促進 等

# 3

## 「美しい国、日本」の実現とその戦略的情報発信

「アジア・ゲートウェイ構想」等を通じて外国人に対して真にオープンな国を実現するとともに、「文化産業戦略」と連動し、個性豊かな地域、先端技術から伝統技能まで、ポップカルチャーから伝統文化まで、多彩なものが共存・融合し、多様性に溢れた「美しい国、日本」を全世界に向け積極的に情報発信することが重要である。

### (1) 外国人の興味・関心を的確に把握するため、外国人の知恵・経験を生かした市場ごとの日本の訴求ポイントに関する調査の実施・活用

- ・外国人の興味・関心を的確に把握するための調査の実施及び新たなマーケット戦略の策定

### (2) 国を挙げた日本ブランドの海外発信の促進

- ・海外における広報拠点(JNTO、在外公館、広報文化センター)の更なる活用・充実
- ・企業の国際的な事業活動を通じたきめ細かな情報発信
- ・アニメ、マンガ、映像等をテーマとしたメディア芸術のための体験型のセンターの設置 等



ケルン日本文化会館

### (3) 訪日外国人旅行者が一人で安心して移動・滞在できる真にオープンなハード及びソフトインフラの整備

- ・交通機関、宿泊施設、飲食施設、集客・観光施設等において広域的な利用が可能な共通ICカードの導入
- ・日本の美観に優れたビジット・ジャパン案内所の増設やITを利用した案内板情報システムの導入
- ・新しい発見、体験を容易にする、魅力的で使いやすい観光ガイドブックの刊行の促進
- ・諸外国の映像国際放送受信設備、高速通信設備の導入を推進 等



案内板情報システム

### (4) 戦略的な情報発信にとっても有効な国際会議、国際文化・スポーツイベント、国際展示会・見本市等(MICE)の誘致・開催の推進

- ・国際会議、国際文化・スポーツイベント、国際展示会・見本市等(MICE)の誘致・開催を推進するための国家戦略の策定・実行 等